



北区 植竹小学校 校長 平 沼 智

1 はじめに

本校では、スクールサポートネットワークの取組として、学校安全ネットワークをはじめ、盆栽、図書、環境、ソーイングなど保護者、地域の方々によるボランティア活動が盛んに行なわれている。授業中の教室や廊下に、学習支援ボランティアの方がいることが日常の風景となっている。

また、通学区内の盆栽町には、盆栽園や盆栽美術館、盆栽四季の家などがあり、日本を代表する文化である「盆栽」が、地域の特色のひとつになっている。

2 学校の教育目標

- すすんでまなぶ子
- たすけあう子
- げんきな子

教育目標に加え、児童の合言葉として、「はつらつ にこにこ 美しく」をスローガンに掲げ、知、徳、体、コミュニケーションのバランスのとれた児童の育成に努めている。

3 特色ある教育活動

～「一人一鉢『盆栽』づくり」体験学習～

本校では、第5・6学年の総合的な学習の時間に、一人一鉢の盆栽づくり体験（本校では、「盆栽教室」と呼ぶ）を、地域をテーマとした学習として位置付け実施している。この「盆栽教室」は、平成18年の北区民会議における「支援チャレンジ提案事業」の一環としてスタートしたもので、今年度で6年目を迎える教育活動である。

児童は、鉢植えをした盆栽（真柏）の剪定や水やり、鑑賞の仕方などを体験するととも

に、盆栽美術館や盆栽園を訪問してインタビューをしたり、インターネット等を活用したりして探究活動に取り組む。そして、学習のまとめとして地域の方を招いた発表会を行う。

学校で育ててきた盆栽は、卒業時に記念として家に持ち帰る。卒業後も、盆栽美術館で開催される「盆栽相談デー」でアフターケアをしていただける環境が整っていることも、この学習を支える大きな力となっている。

盆栽づくりには、専門的な知識や技術が必要である。そのため、「清香園」の山田香織氏に御指導いただくとともに、ボランティア団体「ぼんさい遊々」や保護者の皆様と学校とが連携協力して進めている。その連絡調整は、学校地域連携コーディネーターが担当し、地域と学校をつなぐパイプ役となっている。



創立60周年記念「にこにこ盆栽庭園」が児童の盆栽約330鉢の棚場となっている。

4 おわりに

小さな一鉢の盆栽が、学校と地域を結び、児童の地域愛を高める役割を果たしている。

今後も、保護者、地域と手を携え、夢をもち、心豊かに活動する児童を育てていきたい。